

# 観光文化

Tourism Culture



239  
October  
2018



特集

## 古書から学ぶ

[巻頭言]  
古書から学ぶこと  
神戸芸術工科大学  
西村幸夫

視座

古書はいつもあたらしい  
インタビュ― 溝尾良隆 (金教大 学芸教授)

古書をひもとく  
「尺度」をみかく  
あとがき 福永香織  
(公財)日本交通公社

5 国際観光局の10年  
立教大学 千住一

4 ホテル建築からみた  
書籍の情報と時代性  
神戸女子大学 砂本文彦

3 日本の温泉医学、  
その新時代への起点を  
古書から見つける  
NPO法人 健康と温泉フォーラム 合田純人

2 戦時下の  
国土休養地計画  
(財)自然公園財団 阿部宗広

木田拓也 (武蔵野美術大学)

山口誠 (獨協大学)

荒山正彦 (関西学院大学)

1 座談会  
だから  
古書は面白い!

コラム  
復刻版の意義と課題  
不二出版株式会社 会長  
船橋 治

コラム  
「100年前の観光」を観光する  
古書を活用した大学教育の実例  
獨協大学 山口ゼミ

旅の図書館だより  
「旅の図書館」の  
40年  
大隅一志  
(公財)日本交通公社

旅の図書館は今年で開設40周年を迎えます。

開設以来、観光・旅行に関する最新の図書や雑誌に加え、明治・大正・昭和戦前期の古書や地誌、社史といった古い資料も収集してきました。

こうした古書の中には、その分野、その時代において大きな影響を与えただけでなく、現代にも通じる示唆を投げかけるものも多く存在します。また、思わぬ発見やアイデアの宝庫であることに気づかされます。

本特集では、古書を活用しながら研究を進めている先生方に、それぞれの分野の歴史を語る上で欠かせない古書や、ご自身の研究において影響を受けた古書を紹介いただいています。古書の魅力や古書から学ぶ面白さを知っていただき、古書を手取るきっかけとしていただけたら幸いです。

